

議会せきがはら

第

159

号



関ヶ原合戦祭り2016

～手づくり甲冑をまとう若武者たち～

10月16日 関ヶ原子ども歴史絵巻

2～3頁

◆平成28年度一般会計補正予算（第4号）

2億8,197万円を追加 ～第3回議会定例会～

4～12頁

◆よりよい町政へ 一般質問

12頁

◆議員視察研修報告

☆平成28年度一般会計補正予算（第4号）
2億8,197万円を追加

病院事業会計へ2億5千万円の負担金及び補助金を計上

☆6名の議員が町政に質問

平成28年第3回関ヶ原町議会定例会は、9月2日（金）に招集され、9月20日（火）までの19日間、町長提出の条例、補正予算など重要案件の審議を行いました。議員より一般会計補正予算の修正動議が提出されましたが、原案通り可決されました。一般質問は6名の議員により行われました。

報告・承認

☆一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認

法人町民税の過誤納金還付金、町内施設の修繕料の増額に伴い、総額387万7千円を追加したことの報告を受け、承認するもの。

☆一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認

関ヶ原古戦場史跡案内サイン設置調査検討業務の増額に伴い、総額884万8千円を追加したことの報告を受け、承認するもの。

☆福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

児童扶養手当施行令の改正に伴い、一部を改正する条例を定めたことの報告を受け、

承認するもの。

☆平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、財政指標の報告を受けるもの。

下表参照

人事案件

☆人権擁護委員の推薦

小川まさ江氏（大字今須）、水向都子氏（大字関ヶ原）の任期満了に伴い、引き続き適任であると答申を行うもの。

☆教育長の任命同意

中川敏之氏（垂井町）の任期満了に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が適用され、引き続き任命することに同意するもの。

健全化判断比率

	健全化判断基準	参考	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	15.00	20.00
連結実質赤字比率	-	20.00	30.00
実質公債費比率	13.6	25.00	35.00
将来負担比率	68.0	350.0	

実質赤字比率、連結実質赤字比率
実質赤字額、連結実質赤字額がないため「-」表示。
実質公債費比率
昨年より0.4%下降。

将来負担比率
将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標。昨年より10.8%下降。この数値は低いほどよい。

資金不足比率
各会計とも資金不足額がなく「-」表示。

条例関係

☆税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、町民税の延滞金計算期間から一定期間の控除、医療費控除の特例、法人町民税の税率、軽自動車税の環境性能割の創設などの改正を行うもの。

☆道路路占用料等徴収条例の一部改正

電気事業法の一部改正に伴い改正を行うもの。

資金不足比率

特別会計	資金不足比率	参考 経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
病院事業会計	-	20.0
玉農業集落排水事業特別会計	-	20.0
今須農業集落排水事業特別会計	-	20.0
公共下水道事業特別会計	-	20.0

◆地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に関する条例制定及び改正

☆職員定数条例の一部改正
新教育長の身分が特別職となるため改正を行うもの。

☆教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定

新教育委員会制度による教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する規定を定めるため条例

を制定するもの。

☆非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

教育委員長と教育長が一本化されたため、教育委員長の規定を削除する改正を行うもの。

☆常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正

特別職になる新教育長は、地方自治法に基づくため、改正を行うもの。

☆職員等の旅費に関する条例の一部改正

新教育長の身分が特別職となるため、教育長を追加する改正を行うものなど。

☆教育委員会委員定数条例の一部改正

新教育長は教育委員ではないくなるため、定数を3名に改正を行うもの。

☆議会委員会条例の一部改正
出席説明の要求を教育長に改正を行うもの。

予算関係

☆公共下水道事業特別会計への繰入金の変更

建設費増額に伴い、一般会計からの繰入金を変更するもの。

変更前 2億568万6千円
変更後 2億845万6千円

☆一般会計補正予算(第4号)
徳川家康最初陣地復元工事

請負費、病院事業会計負担金及び補助金の増額に伴い、総額2億8,197万円を追加するもの。議員2名より修正案の動議が提出されたが、修正案は否決。
下表参照

☆一般会計補正予算(第5号)
共通史跡案内サイン設置工事費の増額に伴い、総額1億6,400万円を追加するもの。

☆国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
一般被保険者保険料還付金、前年度退職者医療療養給付費交付金償還金の増額に伴い、総額130万1千円を追加するもの。

☆介護保険特別会計補正予算(第1号)
人件費、前年度介護給付費・地域支援事業費にかかる国・県支払基金負担金償還金の増額に伴い、総額1,532万円を追加するもの。

☆今須農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
中継ポンプ非常通報装置修繕料の増額に伴い、総額95万2千円を追加するもの。

☆公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
耐震補強設計業務及び農集統合接続管基本設計業務委託料の増額に伴い、総額600万円を追加するもの。

☆病院事業会計補正予算(第1号)
給与費を減額し、大幅な減収に伴い他会計補助金2億5千万円を追加するもの。

決算認定

☆決算審査特別委員会の設置及び委員の選任

平成27年度各会計歳入歳出

決算の認定は、初日に提案説明を受け、決算審査特別委員会を設置・付託し、一般会計・特別会計は、閉会中の継続審査とするもの。

決算審査特別委員会

委員長 子安 健司
副委員長 谷口 輝男
委員 田中由紀子 中川 武子
楠 達男 川瀬 方彦

☆水道事業会計・病院事業会計決算の認定

会期中に決算審査特別委員会を行い、最終日に報告を受け、両会計とも原案通り認定した。

請願関係

☆所得税法第56条の廃止を求める意見書採択を求める請願
審査のため総務民生常任委員会へ付託し、協議した。最終日に委員長報告後、採決を行い、不採択となった。

平成28年度一般会計補正予算(第4号)主な内容

歳出

・介護ロボット導入促進事業補助金	92万7千円
・病院事業会計負担金及び補助金	2億5千万円
・小規模農家組織化支援事業費補助金	252万6千円
・農地利用集積モデル地域支援事業費補助金	400万円
・徳川家康最初陣地景観復元工事請負費	1,000万円
・建築物耐震診断事業費助成金	47万2千円
・ふれあいセンター施設修繕料	58万8千円

歳入

・地域介護・福祉空間整備推進交付金	92万7千円
・小規模農家組織化支援事業費補助金	252万6千円
・農地利用集積モデル地域支援事業費補助金	400万円
・清流の国ぎふ観光回廊づくり推進事業費補助金	862万1千円
・建築物耐震診断事業補助金	35万4千円
・財政調整基金繰入金	1億円
・前年度繰越金	1億8,513万4千円

よりよい町政へ 一般質問 Q & A

第3回議会定例会質問者

松井 正樹 議員
 楠 達男 議員
 川瀬 方彦 議員
 田中由紀子 議員
 室 義光 議員
 中川 武子 議員



松井 正樹 議員

質問 1

関ヶ原病院の経営改革・関ヶ原古戦場グランドデザインの現状等の町民説明会を踏まえての今後の行状について

問

8月28日に開催した町民説明会での手応えや様々な意見を受けて、今後の取り組み、意気込みを伺う。

答〔町長〕

関ヶ原病院を有床診療所へ移行することは、概ね理解を得られたと思う。患者や職員には大変な迷惑をかけ申し訳なく思うが、御理解と御協力をお願いしていきたい。運営体制や施設の効率的な利用など課題が山積しているが、来年4月からの運営に万全を期していきたい。規模は縮小するが、町民の安心・安全のため

めに医療サービスを維持していく決意である。

グランドデザイン事業は事業の全体像や今後の進め方は提示できたと思う。ビジュアルセンターの概要ができたなら、再度説明する必要があると考えている。本事業は町の活性化への起爆剤であり、町の魅力を発信し、町全体を盛り上げていきたい。

再質問

①病院の縮小に伴い、施設に空きが生じるが、今後の利用方法は考えているのか。

②診療所の経営状態によっては、町の事業縮小もあり得ることだが、具体的にどの事業なのか。

③移行の際の事務手続きで、大きなやるべきことを具体的に伺う。

答〔町長〕

①中病棟を中心に利用することになるが、南病棟は給食施設以外の利用の予定はない。北病棟は検討中であるが、福祉分野での利用を視野に入れ、考えていきたい。

②不要不急の事業を中心に縮小する考えである。

③患者の移転や職員の退職関



▲町民説明会（ふれあいセンター大ホール）

係、条例の整備がある。また不要になる施設をたちまち取り壊す財政的な余裕がないため、国等の助成措置がないか探していきたい。

質問 1

西脇町政の4年を問う

問

①4年前に比べ、人口対策、行財政改革、町有地活用、病院改革、高齢者福祉対策、子育て支援、観光対策、防災対策、情報公開は改善・進展しているのか。また、この4年間で自己評価する点と何点か。

②職員の意識改革・教育や企業誘致、人口対策にどのようなトップセールスを行ってきたか。

③町の重要施策に対する住民への説明や情報公開が十分と思うかがか。

答〔町長〕

①人口対策は、人口ビジョン・総合戦略の策定、空き家



楠 達男 議員

フォーム補助金や宅地開発支援補助金の創設、西美濃地域定住促進PR事業を実施した。行財政改革は、第5次行政改革大綱をもとに、事業の見直しや定数の適正化、人事評価制度を導入し、改革を行った。町有地活用は、土地余力は限られ、企業誘致は厳しい状況にある。病院改革は、様々な経営方法を検討した結果、規模を縮小する方向で進めることになった。高齢者福祉対策は、急速な高齢化により介護給付費が増加したため、介護保険料を見直し、健全な事業会計を維持できるように努めている。

子育て支援は、子育て応援給付金支援事業の創設、小学生2人以上の世帯の第3子以降の保育料無料化、乳幼児等医療費助成の所得制限を廃止した。さらに認定こども園設置に向け取り組んでいる。観光対策は、駅前観光交流館を開設し、古戦場グラウンドデザイン事業を推進している。防災対策は、備蓄品を増やし、指定避難所の見直し、土砂災害

ハザードマップの作成・配布を行った。情報公開は、広報誌とあわせてホームページの充実に取り組んだ。自己評価は、私自身が評価するものではないと考えられている。

②職員には積極的に研修に参加させ、知識と意識の向上に取り組んできた。企業誘致は適した土地が限られ、この状況下でのトップセールスは難しい状況であった。③広報誌、ホームページにて情報を発信している。病院改革やグラウンドデザイン事業は町の重要施策と捉え、町民説明会を開催した。今後にも必要に応じて、事業毎に情報公開の方法を検討していく。

再質問

①この町の4年間の最大かつ緊急の課題は何であったか。また、町長と同等格の副町長を配置することで、責任と役割分担を明確にし、町長はトップセールスに専念できるようにすることを検討してはどうかか。②職員は町長の考えを理解し、同じ方を向いて仕事を

しているのか。また職員自らの能力開発についての指導など職員教育に力を入れていただきたい。例えば、5S運動はどのようにしているのか。企業への出向、他の自治体への人事交流など具体的なことを検討してはどうかか。

答〔町長〕

①やはり20年間続いてきた関ヶ原病院の赤字問題が課題であった。副町長の設置は現時点ではできないと思っている。

②職員には人口が減少する中、行政運営ができていくのか自ら考え、行動することを求めているが、自身の職務を遂行することに集中している面が多いのが現状である。もう一度職員に啓発をしていく必要があると思う。5S運動については、職員には挨拶を徹底するように指示しており、その他はあまり力を入れていない。出向や人事交流は、現職員体制では厳しい状況である。しかし他の職場で勉強することは非常に価値があると思うので、今後定

員管理の中でできないか検討したいと思う。

再々質問

町長はこの4年間で、課題にいろいろな形で携わってきしたが、町長としての指導力はいかなものかと思う。職員あるいは町民に対する指導力について、もっと自信と確信を持って進めていただきたい。町長の考えを伺う。

答〔町長〕

十分反省し、今後は自覚を持って、積極的に取り組んでいきたいと思っている。

質問2

関ヶ原病院改革に伴う具体的な課題と今後の移行スケジュールについて

問

①有床での診療所体制に向けて、病院開設者としての決意を伺う。
②診療の変更点は何か。現入院患者はどうか対応するのか。
③診療所体制の職員定数は何か。これに伴う退職と再雇用の受け皿はどうするか。
④今後、収入確保と経費節減がより求められるが、具体

的な取り組みはどうか考えているのか。

⑤移行スケジュールと今後の課題を伺う。

答〔町長〕

①町民の健康と福祉を守り、病床を維持するため、できる限り財政面も支援していく決意である。

②診療科は内科2診、外科、整形外科共に1診、人工透析内科、循環器内科共に月1回、午後診療週3回を考えている。地域包括病棟の患者は最終的に19床のベッドに移行し、障害者病棟の難病患者は、岐阜大学病院経由で転院先を決めている。その他の患者の受け入れ先は、近隣の病院や老人福祉施設と調整している。

③予定職員定数は、医師4名、看護師11名、医療技術員10名、事務員4名、その他6名である。退職者の再雇用先は、医療機関からの問合せが来ており、積極的に紹介していきたい。
④在宅医療に力を入れ、診療所としてできるサービスは何かを考え、実施可能なものは導入し、徐々に患者数

を伸ばし、収益アップにつ
ないでいきたい。また、保
守点検の見直しをし、使用
施設を中病棟に集約し、燃
料費などの削減を図ってい
きたい。

⑤9月中に職員のヒアリング
を終え、年内に再雇用先の
斡旋作業を終える予定であ
る。1月より障害者病棟の
患者の移動を始める。院外
薬局は公募し、10月中に決
定し、12月議会定例会には
関係条例の整備を予定して
いる。関ヶ原病院はボーイ
ラーから熱源供給している
施設のため、効率が悪く、
施設改修が課題である。

再質問

①改革案がある程度固まった
ら、再度町民説明会の開催
をお願いしたいが、全町民
は来られないわけであり、
どのように町民へ周知する
のか。

②縮小するにあたり、職員に
は大きな負担と犠牲を強い
ることになる。ここまでに
至った町長や議会の道義的
責任は免れるものではない。
痛みを分かち合うため
に、町長、職員、議員の一

定の賃金カットも検討すべ
きではないか。

③移行により課題は山積して
いるが、本当に4月から移
行できるのか。住民の不安
にしっかりと応えるために
も、4月にこだわる必要は
ないのではないか。

答【町長】

①折り返みなどで周知徹底し
ていきたい。
②私の任期中にできるかと考
えると、時間がかかり厳し
いと思う。将来的な課題と
したいと思う。

③診療体制は何とかなると
思っているが、施設改修な
どの物理的な課題が若干残
ると思う。しかし、4月か
らスムーズに運営できるよ
う努力していきたいと思う。

再々質問

町自体が病院の赤字補填を
するのは別に、移行に伴う
避けて通れない出費がある。
そのためには一定の町債の発
行もやむを得ないと思うがい
かがか。

答【町長】

御指摘の通り私も別枠で調
達できないかと考えている。



川瀬 方彦 議員

質問 1 防災対策について

問

6月に一般質問で避難所
あるふれあいセンターの収容
予定人数が200人であるこ
とに、町長は地域防災計画に
不備があると答弁した。町民
の生命・財産を災害から守る
ことを第一に考え、町長は6
月から現在までにどのような
対策をしたのか。問題点も含
めて伺う。

答【町長】

予算の許す範囲で備蓄品を
増やし、避難行動要支援者名
簿を更新した。8月には職員
の非常参集訓練を抜き打ちで
行い、連絡網がつながってい
ないなど確認が把握できない
課題が見つかり、改善を指示

した。防災訓練は雨天中止と
したが、職員には同日、消火
栓取扱講習を行い、防災の
意識改革を図った。また6月
の一般質問で御指摘の地区防
災計画は、平成26年4月に施
行の地区防災計画制度の状況
を見ながら、各地区での地区
防災計画策定の支援を検討し
ていきたいと考えている。ま
た県が防災計画の見直しを進め
ているので、町の防災計画と連
動を図っていきたいと思う。

再質問

①非常参集訓練の課題は、指
示の後、克服し、報告を受
けているのか。県防災計画
の見直しを待つて、町を見
直すのでは遅すぎる。把握
している改善点の話し合い
がなぜ進まないのか。職員
への指示が本当に全員に伝
わったかをどのように確認
しているのか。

②町民への意識付けを図るた
め、雨天だからこそ防災訓
練を実施すべきではなかつ
たのか。

③ある地区では防災講習会を
開催し、地震に備えて自分
達でできることなどを確認
していた。もし指定避難所

に入れない、行けない場合
は、地区の集会所を避難所
として考えなければならな
いと問題点を話し合ってい
た。町長は、6月の一般質
問で、各地区・各自主防災
組織の問題点を把握し、「共
助」を地域にお願いすると
答弁されたが、どのように
行動したのか。未実施の場
合、いつまでにするのか。

答【町長】

①連絡網体制は今後見直しを
していきたいと思ってい
る。防災計画は、県との整
合性を図りたいため、確認
待ちの状態である。町にお
いて検討すべき事項は反省
し、今後取り組みを進めて
いきたい。災害時には職員
が自主的に動き出すことが
求められるため、もう一度
啓蒙していきたい。

②予報に反して小雨だったの
で、申し訳なく思っている。
③各組織への周知はまだ行っ
ていない。早急に取り組む
よう担当者に指示をする。

再々質問

防災対策だけでなく、町が
抱える問題は多岐にわたり、
山積している。町長は、町民

を守り、安心・安全なまちづくりが重要課題だと言っている。このような問題点に対し、危機管理対策室を設置し、プロジェクトチームを作り、役場内に設立されてはいいかがか。

答〔町長〕

多方面で危機管理が求められているのは確かである。しかし、現職員体制を考えると少し疑問がある。早急に、各課横断して検討をし、将来的に考えていければと思っ



田中 由紀子 議員

質問1 関ヶ原病院は現行 88床の存続を

問

- ①病床数19で足りるのか。1ヶ月を越えて入院することはできるのか。
- ②時間外診療、入院や手術を

必要とする患者に対応する2次救急、看護師の夜勤体制はどうなるのか。

- ③MRIやCTは規模にかかわらず今後も維持すべきではないか。
- ④財政が優先され、町民をど

んな医療で守っていくのが明らかになっていない。もう一度しっかりと議論するべきではないか。

答〔町長〕

- ①肺炎や腹痛など1週間程度の点滴加療や施設で急に悪くなった患者、レスパイト入院、末期がんで最後の看取りが自宅でできない患者は今まで通り入院できる。在宅復帰が見込める患者や訪問診療時に入院が必要と判断した患者も入院できる。しかし1ヶ月以上治療が必要な場合は急性期病院を紹介する。
- ②時間外や2次救急は職員数を考えると、維持することは難しいと考える。夜勤体制は看護師、助手それぞれ1名で考えている。
- ③MRIの保守点検をスポット対応するため、高額な修理代が必要なときは、補

正予算を組まないと対応できず維持が困難となる。CTは複数の診療科で運用するため維持する予定である。

- ④現在待ったなしの改革が必要との認識のもと、病院改革特別委員会や病院運営審議会で協議し、規模縮小の判断をした。理解していただきたい。

再質問

- ①さらに高齢化が進む中、本当に19床で足りるのか。
- ②在宅医療に力を入れることは、将来必要不可欠だと思う。しかし、単身高齢者世帯への対応には限度があると思うがいかがか。
- ③今後急病の場合、私達町民はどうしたらよいか。
- ④関ヶ原病院の優位性を考えると、MRIも維持すべきではないか。
- ⑤診療所化を提案してから、すぐに決定するのはあまりにも拙速である。全国的にも有床の診療所は減少傾向にあり、それだけ経営が大変である現れだと思う。また、昨年度は収益確保のため、経営努力をしてきた事実が

ある。その辺りの見解を伺う。

答〔町長〕

- ①十分とは言えないと認識しており、他の病院との連携で対応をお願いしていくことになると思う。
- ②できる限り在宅で対応したいが、並行して施設入所も考えてほしいと思う。
- ③近隣の救急病院に行ってもらうことになる。現在、関ヶ原病院での救急対応は非常に少ない。
- ④使える間は修理しながら使うことにしており、新たに購入することは考えていない。
- ⑤現行の88床体制では、財政においても維持できる状況ではなく、早急に対応しなくてはいけないという判断で決断した。

再々質問

- ①来年度からの職員体制について、8月の病院改革特別委員会と一般質問での答弁とで人数に違いがあるのはなぜか。
- ②町民の命と健康を守り、そして病院を守ることを軸に、安心して医療を提供するという意思を持って、現行の体制がよいのか、19床

の診療所体制がよいのか、真剣に議論していくべきだと思うが、最後に町長の決意を伺う。

答〔町長〕

- ①全てが決定ではなく、検討を重ねている段階だからである。
- ②人口減少、財政難が課題となる中、縮小してでも医療サービスを存続するという選択をした。十分に理解をいただきたい。

質問2 移住・定住対策の 推進を

問

- ①今年度空き家の現状調査が行われているが、いつ結果が出て、どのような対策を考えているのか。
- ②移住を勧める際、何を売りにして、どこにどのような人に来てほしいのか認識を伺う。
- ③この対策が地域の主体的な取り組みになるよう働きかけることも同時に進める必要があると思うがいかがか。

答〔町長〕

- ①年度内には調査票としてま

とめる予定である。今後は、

空き家の所有者を特定し、

利活用可能な空き家は、空き家・空き地バンクへ登録を促し、空き家対策業務に利用していきたいと考えている。

②古戦場のまち、歴史のまちはもちろんのこと、自然が豊かでありながら、都市圏へのアクセスが便利であることが売りだと思う。都市部へ通勤しながら、田舎で暮らしたいと考える方には、地域を限定せず移住してほしいと思っている。

③住民の意見に注目しながら、地域の中で人口減少についての意識の高まりが感じられた際には、地域の取り組みについて一緒に考えていけたらと思う。

再質問

①この対策にはもつと町と地域が危機感を持って進めていくべきだと思うが、認識を伺う。

②今須地区の児童数が減少する中、地域で移住してもらうためのPRをするべきであり、また、地元に戻ってきてもらうUターンの方に

対する調査や支援する誘導策が必要かと思うかがかか。

答〔町長〕

①空き家を誰かに使ってもらいたいという強い思いがあまりないのが町内の実情だと認識している。移住に対する考え方や要因を分析し、少しでも多くの方に移住してもらえよう対策を考えていきたい。

②今須地区の出生数の減少は、将来的に大きな問題になると認識している。調査結果を待って、誘導策や個々の事例を判断していきたいと思う。

再々質問

関ヶ原町としてPRするところは多々あるので、一歩も二歩も踏み込んで対策を進めてほしい。また、上石津が移住体験ツアーを実施しているが、関ヶ原町で取り組む予定があるか。PR活動を関西方面にも手を伸ばしていくべきかと思うかがかか。

答〔町長〕

調査結果が出ていないので、体験ツアーの考えは現在ない。広く発信していきたいと考えている。

質問2 老人福祉センターのお風呂の代替えは町の責任で

問

老人福祉センターを取り壊し、移転先を検討しているという聞いた。その中のお風呂は高齢者の健康増進に大きく貢献しており、代替え措置が必要である。どのような検討がされているのか。

答〔町長〕

関ヶ原病院の方向性が固まり、本格的に移転先を検討したいと考えている。同時に風呂の対応も検討するが、新設することは考えておらず、継続するなら既存施設での利用を検討していくことになると思う。

再質問

高齢者が地域の中で最後まで生活できるように、認知症や高齢化の予防には、お風呂の存在は非常に効果があると思う。検討することだが、もう一度認識を伺う。

答〔町長〕

わずかな利用者を無視するわけではないが、やはり運営

するには支出が伴うため、十分検証した上で取り組むべき課題だと認識している。

再々質問

①少人数であっても、お風呂を利用することで元気になってもらえれば大きな効果があると思う。その辺りの認識に違いがあると思うが、もう一度伺う。

②ランドデザイン事業は町にとっては大きなチャンスだと捉えているが、町民の暮らし、福祉、医療がたがたでは何のためにやっているのかわからなくなるのではないか。

答〔町長〕

①風呂をなくす前提で考えているわけではなく、既存施設を使って検討すると言っている。経費の問題や利用状況が踏まえ総合的な判断が必要になると思う。

②町の活性化のためにはランドデザインの取り組みは続ける政策だと認識している。経費が無駄などの意見はあるが、それに増すくらい町の活性化も大事である。町民が何か一つ希望が持てるまちづくりも必要

だと思う。よって、病院問題とランドデザインは別のもので捉えるのが本来であると思っている。しかし、ランドデザインにおいても無駄な出費は避け、財政状況を見ながら進める必要があると思っている。



室 義光 議員

質問1

まちづくり基本構想について

問

町長は前町長のもとで策定されたまちづくり基本構想を継続し、政策を進めているが、この基本構想の考え方に同調しているのか。またこれは、町総合計画の代わりと記載があるが、その解釈でよいのか伺う。

答【町長】

まちづくり基本構想とは、将来のありたいまちの姿を示す町の基本的な方針を定めたものである。この構想に沿って、様々な事業を実施してきた。総合計画は、基本構想で定めた目標を実現するために必要な取り組みの方向性を示したものである。病院やグラウンドデザイン事業の方向性が定まり、公共施設等総合管理計画も策定中であり、今後はまちづくり基本構想の見直しも含め、総合計画の策定を行いたい。

再質問

まちづくり基本構想には基本計画や実施計画の策定が必要であるが、作成されているのか。中間年次で進捗状況の報告、見直しは実施したのか。町長が提示するまちづくりの推進について協議、検討する関ヶ原町まちづくり委員会が設置されているが、今後委員会として継続なのか、廃止なのか。また、関ヶ原町総合開発計画審議会ではまちづくり基本構想について、町長の諮問に応じて調査、審議するとあるが、まちづくり基本構想

に対して、一度も開催していないが、その理由を伺う。

答【町長】

基本構想策定後、基本計画は作成しているが、公表していない。委員会では計画を作成し、それをチェックしただけで、以降開催していない。まちづくり基本構想の見直しは、来年度総合計画策定の中で見直しを図りたいと思っている。委員会は、総合計画策定に向けて委員をもう一度委嘱し、策定作業を進めたいと考えている。

再々質問

力強いリーダーシップのもと、西脇カラーを前面に出し、町民のためになる基本構想を作成してほしい。見解を伺う。

答【町長】

少子高齢化が甚だしい時代であり、その中の計画はつくりにくいのが、非常に重要な計画になると思う。確実に生き残れる町として。

質問2

関ヶ原行政改革大綱(第6次)について

関ヶ原行政改革大綱に財政

が取り込まれた理由と、総合計画に基づいて行財政改革大綱を策定するのが正論で、順序が逆ではないか伺う。

答【町長】

以前より行政改革大綱の中に財政改革にかかわる目標、主要施策が掲げてあり、行財政運営の透明性を高め、財政改革をさらに推進するために「行財政改革大綱」とした。御指摘の通り、政策を総合計画で策定し、それを踏まえて行財政改革大綱を策定するものと認識している。今回はまちづくり基本構想と照らし合わせて策定している。総合計画策定後は、行財政改革大綱の見直しも必要かと考えている。

再質問

①平成28年3月31日に行財政改革大綱が答申されたが、それでは平成28年度予算に措置できなかったのではないか。実質1年遅れの実施になるのではないか。

再質問

②行財政改革大綱の集中改革プラン推進計画によると、幼保一元化は平成30年に統合としている。今須小中と関ヶ原小、関ヶ原中の統合は平成32年度にかけて検討

としているが、委員会では平成30年に前倒しすると意見が出ている。今後どのように進めるのか。

答【町長】

①一応予算には盛り込ませている。ある。
②幼保一元化は、夏に保護者対象に説明会を実施しており、取り組みを進めているところである。学校の統合は、出生数が大幅に減少していることから、早急に検討すべき課題だと認識している。統合の時期は今後協議し、できるだけ早い段階で進める必要があると思う。

再々質問

①行財政改革大綱の実施にあたり、委員に財務にかかわる有識者などを増やし、見直しをするべきと思うがいかがか。

再々質問

②ふるさと納税での増収対策が議論されているが、それにかわるイベント支援金や古戦場保存支援金など定着する資金源を役場内のプロジェクトチームで考案してはいかがか。また、そこに観光協会や商工会のメンバーを加えてはいかがか。

答【町長】

①有識者を入れることにはやぶさかではないので、検討していきたいと思う。
②グラウンドデザインの中で、クラウドファンディングを利用してできないかと思っている。今後検討していきたい。プロジェクトチームに観光協会などのメンバーを加えるのは問題ないかと思うが、その場合は要綱の見直しが必要である。検討課題になると思う。



中川 武子 議員

質問1

関ヶ原病院と関ヶ原古戦場グラウンドデザイン事業について

問

①町民説明会を経て、19床の有床診療所体制にする示したが、町としての程度

の財政補填を考え、シミュレーションしているか伺う。

②(ア)6月の議会定例会でビジターセンターの運営について一般質問し、建設主体は県で、運営も基本的には県との回答だったが、町民説明会では県の直営になるかは協議中とのことだった。交渉経過を伺う。

(イ)維持管理にボランティアの導入を考えているようだが、どのような対応ができるか伺う。

(ウ)ボランティア団体で行う物産販売を例とした住民参加の取り組みについて考えを伺う。

答【町長】

①基準財政需要額の範囲内を基本とし、一般財源総額の範囲内での予算配分をする必要がある。診療所へ移行し、経営が安定するまでは、追加での補填が想定されるが、PDCAサイクルを徹底して、補填財源を捻出していく必要があると考える。また、診療所の経営シミュレーションを基に、さらに詳細に詰めていきたい。

②(ア)運営も県が主体になると

考えているが、県の直営か、指定管理者制度を導入するかは、県でも検討課題であると認識している。類似施設での事例を検証しながら進めており、その中で町のかかわりも併せて協議をしている。

(イ)各史跡のゴミ拾いや草刈りなどに協力いただけると大変ありがたいと思う。

(ウ)自主的に商品を製作している団体には、販売の機会をできる限り提供したいと考えている。特産品開発には、今年度より一定額を補助し、特産品の掘り起こしを支援している。今後も積極的な参画には様々な支援体制を取りたいと考えている。

再質問

①(ア)方針を示した管理者としての強い決断の言葉を伺う。

(イ)関ヶ原病院は、医療、福祉、保健の拠点として町民の大切な場である。形態としてどのように考えているのか。

(ウ)この決断が本当に持続可能な判断であるか。

(イ)19床の有床診療所体制では2年しか持たないと風評が流れ、混乱を招いている。この事態をどのように感じているのか。

(オ)町長選挙前の町民説明会の開催を強く希望する。進捗状況も提示せず、「次の4年も私に任せてください。」はないと思う。町長の考えを伺う。

②(ア)県とは町に大きな負担がないよう話し合いをしているとのことだが、話し合っているだけでは内容が伝わってこない。維持管理に関しては町の見解を強く要望してほしい。町長の行動力が問われているか。

(イ)町内を見ていると多くの雑草が生えている。町長にも散策してほしい。町民との対話もできる。我が町をどうするか、県には大いに発信し、きれいな町、関ヶ原を発信できるように努めてほしいと思うがいかがか。

答【町長】

①(ア)関ヶ原から医療をなくしてはならないという強い思いの中、どのようにしたらよいか考えた結果である。財政が健全であった上での病院の存続ということとは認識している。

(イ)規模は縮小するが、それは今までと同様に維持し、町民の安心を守っていききたい。

(ウ)縮小により今まで通りにはいかないのは十分承知しており、町民に迷惑をかけ申し訳なく思う。その中で最大限の努力をし、何とか福祉、医療を保っていききたい。

(エ)現行の88床体制では、財政上、繰出金が今までと同様に出せるものではないので、その辺りの話があるいろいろな形で伝わったのかと思う。

(オ)診療所での運営形態が見えてきた段階で町民説明会を行いたいと考えているが、まだ時期を示すことができない。できるだけ早い段階で行いたいと思いはある。

②(ア)現在、運営形態と職員体

制の問題を県が検討しており、その行方によって

は町も大きく変わる状況であるので、協議に加わりながら推移を見守っている状態である。

(イ)雑草対策は町管理の道路は町で責任を持たないといけないと思っている。県・国管理の道路は除草をもっと推進するよう要望していききたい。

再々質問

説明会の時期の明言はなかったが、町民は状況説明を待っているので、今一度予定時期と意気込みを伺う。

答【町長】

どこまでまとめられるかが読めない状況である。状況を説明して、変更点が出てくると、町民に迷惑を掛けることになるので、大筋でまとめれば説明会を開催する。



委員会報告

関ヶ原地方創生特別委員会

7月8日

地域振興課長から地方活性化・地域住民等緊急支援交付金事業の外部評価及び実績の報告、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた各事業の目標指標と検証と今後の方針の報告、地方創生加速化交付金の活用状況の報告をそれぞれ受けた。そして、ブランドデザイン事業の現在の動きについて説明を受け、最後に各議員より質疑、回答を得た。

病院改革特別委員会

8月8日

関ヶ原町病院運営審議会の提言を受け、町長は、町財政を鑑み、有床での診療所体制に切り替え、財政の立て直しと病院経営の両面を検証しな

から進めていきたいとの意向を示した。これを受け、委員

7名中6名の賛成を得て、今後は町民の理解を得るための説明会の実施や、引き続き具体的な検証を行っていくことを確認した。

9月2日

町民説明会を経て、町長は有床での診療所体制に決定し、病院運営の資金確保を図り進めていく方向を示した。これを受け、委員1名の反対があったが、当委員会では19床の診療所で進めることで合意した。今後は、町の財政負担と病院改革の収支予測の検証を執行部に求め、近いうちに第2回町民説明会を実施することを確認した。

議会運営委員会

8月18日

第3回町議会定例会の会期日程等について協議した後、総務課長から提出予定議案の説明を受け、質疑応答を行った。

全員協議会

8月8日

監理官より公門児童公園の売却について、古戦場グラウンドデザイン推進室長よりゲティスバーク区と姉妹都市協定並びにゲティスバーク国立軍事公園と姉妹古戦場協定締結の経緯についての説明を受けた。

8月25日

8月28日開催の町民説明会の内容について事前に説明を受けた。

決算審査特別委員会

9月6日

水道事業会計

水道環境課長から決算書及び決算資料に基づき、事業報告や収支の説明を受け、慎重に審査を行った。給水人口の減少、節水意識の向上により給水水量が減少しており、依然として給水収益は減少しているが、平成27年度は黒字に転換した。審査の結果、本決

算を認定するに達した。

病院事業会計

病院総務課長から決算書及び決算資料に基づき、事業報告や収支の説明を受け、慎重に審査を行った。入院患者の積極的な受入れにより収益は上がったが、給与費、薬品費、放課後デイサービス等の費用が増加し、大幅な損失は減少したが赤字決算であった。厳しい状況であるが、本決算を認定するに達した。

総務民生常任委員会

9月6日

定例会初日に付託された「所得税法第56条の廃止を求める意見書採択を求める申請」について協議した。審議の結果、不採択とすべきとの結論に達した。



年賀状欠礼のお知らせ



公職選挙法第147条の2の規定に基づき、年賀状による新年の御挨拶を失礼させていただきます。皆様の御理解をお願い致します。

関ヶ原町議会
議員一同

あなたも議会を傍聴してみませんか。
12月定例会初日は
12月8日(木)
開催の予定です。
その他の日程は、決まり次第ホームページでお知らせします。

視察研修報告

東白川村国保診療所
飛驒産業(株)飛驒の家具館

10月24日、25日

現在直面している病院改革の参考とするため、東白川村国保診療所の現状や課題を伺い、施設を見学しました。こゝは、病院から診療所に形態を移行し、現在は介護老人保健施設も併設しています。高齢化率が高い関ヶ原町での診療所運営には、医療・福祉・介護の包括的支援が重要であり、その連携を強化していくことが求められていると感じ



▲東白川村国保診療所にて研修



▲飛驒の家具館を視察

今年度取り組む関ヶ原町産「今須杉」ブランド化による地域活性化事業に関連して、間伐材や廃材を積極的に使った家具の展示場を視察しました。飛驒産業(株)は家具には適さないとされる杉に注目し、加工技術を加え、杉の家具製造・販売に成功しています。我が町の地域資源である、無節で美しい木目の今須杉をPRする一つの方法に特産品開発があります。その際の見聞を大いに広げることができました。

議会活動日誌

〔8月〕

- 2日 第9回町民納涼ソフトボール大会
- 4日 関ヶ原町病院運営審議会
- 6日 岡崎夏まつり花火大会
- 6日 商工会納涼夏まつり
- 7日 第28回三世代交流ふれあいゲートボール大会
- 8日 病院改革特別委員会 全員協議会
- 10日 第2回関ヶ原合戦祭り実行委員会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 岐阜県町村議会議長会第2回評議員会
- 22日～24日 西南濃町村議会議長会県外視察研修
- 25日 民生委員推薦会 全員協議会
- 28日 町民説明会
- 〔9月〕
- 2日 第3回議会定例会初日
- 6日 病院改革特別委員会 決算審査特別委員会 総務民生常任委員会
- 14日 第3回関ヶ原合戦祭り実行委員会
- 15日 交通安全推進協議会
- 17日 関ヶ原中学校体育大会
- 18日 今須小中学校運動会
- 18日 関ヶ原町敬老会

〔10月〕

- 20日 第3回議会定例会最終日
- 23日 第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜グランド・ゴルフ大会
- 24日 関ヶ原小学校運動会
- 29日 西南濃管内町議会議員研修会
- 1日 第25回関ヶ原まつり合戦相撲大会
- 3日 秋葉神社奉納煙火
- 3日 第72回関ヶ原町老人ゲートボール大会・第20回ベタンク大会
- 5日 南濃衛生施設利用事務組合議会定例会
- 7日 史跡関ヶ原古戦場保存整備検討委員会
- 7日 関ヶ原町戦没者追悼式
- 9日 第31回町民体育祭
- 12日 木材の利用促進に関する要望活動対応
- 15日～16日 第67回岐阜県町村議会議長会定期総会及び町議会議会正副議長研修会
- 18日 関ヶ原合戦祭り 全員協議会
- 23日 第8回野上中山道まつり
- 24日～25日 議員視察研修
- 31日 第41回町老連グラウンド・ゴルフ大会
- 全国環整連第42回全国大会

議会用語 解説コーナー

◆動議

主に会議の進行や手続きに関して、議員が論議を提出すること。動議を議題とするためには、2人以上の議員の賛成が必要である。

◆決算審査特別委員会

前年度の決算の審査のために開かれる委員会のこと。本町議会では、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員で構成される。

